



ことわざの調べ方

2008. 3 山梨県立図書館

日常生活や仕事など、さまざまな場面で何気なく使われることわざ。時代や場所により、少しずつ形を変え、あるいは生まれたり消えたりしてきました。ことわざの正確な意味や由来などを調べる時に効果的な資料をご紹介します。

★はじめに、違いを確認★

「犬も歩けば棒に当たる」など、古くから言い習わされている言葉には「ことわざ」「格言」などいろいろな種類があり、これらは本来異なるものですが、実際には混同されることも多いようです。違いを確認してみましょう。

- * ことわざ…古くから人々に言いならわされたことば。教訓・諷刺などの意を寓した短句や秀句。
- * 格言…深い経験を踏まえ、簡潔に表現したいましめの言葉。金言。箴言。
- * 慣用句…二つ以上の語から構成され、句全体の意味が個々の語の元来の意味からは決まらないような慣用的表現。
- * 故事…昔あった事柄。昔から伝えられて興味やいわれのある事柄。
- * 成句…古人の作った詩文の句で、よく知られているもの。二語以上の結びつきが習慣的に固定し、ある決まった意味を表す句。
- * 俚諺…俗間のことわざ。民間で言いならわされてきたことわざ。

(『広辞苑』第6版(岩波書店 2008)より)



全般的なことわざ辞典で調べる

ことわざは一般的な国語辞典などでも調べることができますが、どの項目で説明されているか探しにくいこともあります。一方、ことわざに関する辞典類は意外にたくさんあります。両方をうまく使いこなしましょう。

1. 現在のことわざを調べる

『故事・俗信 ことわざ大辞典』(小学館 1982)

日本で使われることわざ、故事、慣用句、俗信・俗説、ことば遊びなど約43,000項目について解説した辞典です。五十音順に配列され、解説と出典が記載されています。ことわざについては可能な限り原文・英訳が記されており、また俗信・俗説は日本全国の郷土資料・方言資料から収集されています。巻末に総語彙索引があり、ことわざなどの中に使われている言葉から探すことができます。

『成語大辞苑』(主婦と生活社 1995)

ことわざだけでなく、故事、名言、名句などを、日常生活で使用されることが多いものを中心に、世界中から集めた総合的な辞典です。意味、解説、関連語、使用例、出典または使用されている国、対応する英語など詳細に記載されています。五十音順に配列された見出し約5,000語のほか、類語や対語約5,000語を収録。出典解説、人名別名言索引、使用例索引、収録語総索引、英語表記一覧が付いています。

『明鏡ことわざ成句使い方辞典』(大修館書店 2007)

日本で使われることわざ・成句2,287句について、使い方、解説、類表現、出典や、英語で近い意味の表現を記しています。また「誤用」として誤った言い回しや表記、使い方や解釈の誤り、ほかのことわざとの混同などについても解説。特定の言葉を使う成句をまとめて紹介もしています。巻末に総索引、誤用索引、分類索引、出典索引が付いています。

『故事ことわざの辞典』(現代言語研究会著 あすとり出版 2007)

『故事俗信ことわざ大辞典』をベースに、日本で使われることわざ約3,000種について、五十音順に配列し解説しています。出典や類似のことわざ、使用にあたっての注意などのほか、現代においてあまり見られなくなった道具等については、図版を掲載。巻末の「テーマ別さくいん」が充実しています。

2. ちょっと昔のことわざを調べる

『俚言集覧』増補 全3巻(太田全斎原編、村田了阿編輯 名著刊行会 1965-1966)

俗諺を集めた『諺苑』を元に江戸時代(寛政～文政期)に成立し、1899(明治32)年に増補・改編されて刊行されました。ことわざや故事だけでなく、口語、方言、小説語(小説特有の表現)、動植物名、地名・人名などを、解説や出典・掲載資料等とともに五十音順に収録しています。

『**俚諺大辞典**』(中野吉平著 東方書院 1933)

明治から昭和初頭にかけて収集した俚諺・俗語・故事・隠語・地口など約30,000について、解説と収録している文献類を紹介しています。五十音順の配列ですが、それぞれが天文・道德・人事・身体・飲食など14部門に分けられています。巻末に索引付き。

『**故事ことわざ辞典**』[正](鈴木棠三, 広田栄太郎編 東京堂出版 1956)

『**故事ことわざ辞典**』続(鈴木棠三編 東京堂出版 1958)

故事、ことわざ、金言等を五十音順に掲載。意味や出典、古典での用例のほか、語彙の説明や類型の例などが記されています。正編では江戸時代初期、続編は江戸時代中期ごろを中心に、ことわざ等が集められています。



ことわざ辞典の歴史

ことわざは江戸時代に最も発達し、本格的なことわざ辞典もこのころ出現したそうです。寛永期に俳諧作法書として「毛吹草」が松江重頼により編集され、704のことわざなどが「世話」として収録されました(これより以前には『日葡辞書』等がことわざや金言類も収録しています)。この後、「世話尽(世話焼草)」の「曳言之話の部」(明暦期)、「世話重宝記(俗語故事談)」(元禄期)、「諺草」(元禄期)、「本朝俚諺」(正徳期)、「譬喩尽」(天明期)、「諺苑」(寛政期)、「俚言集覧」(出版は明治期)などが編集されていきます。それぞれ時代や編さん場所などによる収録内容の違いがあるそうです。

「毛吹草」は順不同に掲載されているため、ことわざを探す手段とはなりにくいのですが、現在のことわざと比べて読むと興味深いかもしれません。

『**毛吹草**』(松江重頼著, 竹内若校訂 岩波書店 1943)

参考資料:『「毛吹草」ことわざ索引』(堀章男, 加藤美代子編 堀章男 1975)

『**故事ことわざ辞典**』続(鈴木棠三編 東京堂出版 1958)



特定分野のことわざ辞典で調べる

特定分野に限ったことわざ辞典もあります。収録項目数は少なく、ことわざ以外の伝承等が含まれていることが多いのですが、その分野の知識や経験に基づいた詳細な解説が付されており、さまざまな情報を得ることができます。

『仏教ことわざ辞典』 愛蔵版（勝崎裕彦著 溪水社 1992）

庶民生活の中にある仏教由来のことわざ・格言・故事などを集め、解説しています。ことわざの意味を説明するというよりは、法話に近い書き方になっています。付録として「仏教ことわざ数遊び」「仏教文化とことわざの世界」という論文も収録。巻末に索引があります。

『災害予知ことわざ辞典』（大後美保編 東京堂出版 1985）

災害から身を守るために古くから言われてきたことわざや伝承が、日本にはたくさんあります。地震・干ばつ・暴風雨・凶作・火災など20種類の災害について、ことわざと解説、それらが伝えられている地域を紹介しています。

『食のことわざ春夏秋冬』（沢野勉著 全国学校給食協会 2006）

ことわざには食生活の知恵も盛り込まれています。日本を中心とした食に関することわざを食材の旬（季節）ごとに、また番外編として調味料や道具などについて紹介し、それぞれ「食のミニ事典」としてその食材等の解説も付されています。巻末に索引付き。

『たべものことわざ辞典』（東京堂出版 2005）

『世界たべものことわざ辞典』（東京堂出版 2007）

『たべものことわざ辞典』は日本の「食」に関することわざや慣用句約2,000項目、『世界たべものことわざ辞典』は世界の約90の国や地域、民族の「食」に関することわざや慣用句約1,730項目を五十音順に収録しています。巻頭に「事項別分類目次」、巻末に「キーワード索引」があり、『世界たべものことわざ辞典』については「国・地域／民族／聖書別索引」「日本のことわざ索引」も付いています。

『日本の職人ことわざ事典』（清野文男著 工業調査会 2001）

今や消え去ろうとしている、職人の間で口伝として日常使われてきたことわざや格言を、写真をおりまぜて紹介しています。職人世界の厳しさと誇りを感じられる事典。五十音順に掲載されています。

『天気がわかることわざ事典』（細田剛編 自由国民社 1991）

富士北麓地域を中心に、雲・風・雨・霧などの自然現象や、動植物などから天気を予知することわざ等を集めたものです。天気図や気象データ等も収録されています。

『植物ことわざ事典』（足田輝一編 東京堂出版 1995）

植物に関係することわざや慣用表現、言い伝えなどについて、植物名の五十音順に解説しています。ことわざ等の意味だけでなく、文化的背景や外国での表現などについても記載。巻末に索引があります。

『**水のことわざ事典**』（淵真吉編 水資源協会 1994）

水に関する世界各地のことわざを、写真とともに紹介しています。原綴りや出典が書かれているものもあります。

『**鳥のことわざうそほんと**』（国松俊秀文、谷口高司絵 山と溪谷社 1990）

鳥に関することわざ・俗信等81個を、鳥の種類ごとにイラストとともに解説しています。ことわざにからめて、さまざまなウンチクも記されています。

『**健康ことわざ辞典**』（大後美保編 東京堂出版 1984）

健康に関することわざ・俗信などを集めた辞典。腹部の病気・伝染病・体力と保健・身体・年齢と寿命・死など15篇に分け、約5,800を収録、解説しています。特定地域に伝わるものは、地域名も記されています。

『**最新健康医学ことわざ事典**』（青木勝編 東京堂出版 1994）

90のことわざについて、本来持つ意味や出典だけでなく、現代の医療や健康に照らし合わせて解説されています。ことわざの医学的な意味、医療問題などにも踏み込んでいます。

『**庭師の知恵ことわざ事典**』（日本造園組合連合会著 講談社 1996）

園芸や造園の分野で伝統的に受け継がれてきた知恵や工夫を、ことわざ集としてまとめたものです。「植える」「育てる」「愛でる」など7つの章で構成され、下欄にはさまざまな植物の育てかたも記載されています。

『**スポーツことわざ小辞典**』（野々宮徹編著 遊戯社 1992）

スポーツに関することわざ、名言、名句300項目と、それらの類語、反語、英語のことわざ254項目を収録。説明のほか、人名、書名等には注釈も付されています。五十音順の索引のほか、英文ことわざ索引、注釈索引もあります。

インターネット情報源

インターネットで調べる場合、ことわざの全文を総合的な検索エンジンで入力し検索することもできます。また「[Yahoo! JAPAN](http://www.yahoo.co.jp)」や「[goo](http://www.google.co.jp)」など辞書検索のできる検索エンジンで調べることもできます。

ここでは、ことわざ専門のWebサイトをご紹介します。

『**ことわざデータバンク**』（ことわざデータバンク運営事務局）

<http://sanabo.com/kotowaza/>

ことわざ、慣用句、名言を五十音順や直接入力で検索することができます。意味や出典だけでなく、類義・対義のことわざや英語のことわざも紹介しています。



ことわざで遊ぶ<その1>ー「いろはカルタ」

ことわざや格言をカルタに仕立てた「いろはカルタ」は、江戸時代中頃に生まれ、全国に広がりました。今ではことわざだけでなく、さまざまなテーマのものがあります。



『岩波いろはカルタ辞典』（時田昌瑞著 岩波書店 2004）

江戸時代から現代までのカルタ400点から約420句を収録。解説とカラー図版が掲載されています。コラムも充実。巻末に「いろはカルタ略年表」と「主要カルタ・史料解題」があります。

『いろはかるた』（「別冊太陽」1974年冬号）（平凡社 1974）

上方と江戸、双方のいろはカルタをいろは順に掲載。また世相を写したものや教育的なものの紹介、カルタの歴史などを紹介しています。

『江戸いろはカルタ』 修正版（原和子、持田靖之共編 泰文堂 1997）

いろはカルタを英訳したものです。日本語を見出しとし、全てのことを解説しローマ字でも表記すると共に、似た意味の日本のことわざとその英訳や、同じ意味を持つ英語のことわざが紹介されています。



＊こんな資料もあります＊



『ことわざ資料叢書』全12巻，第2輯全10巻（クレス出版 2002-2003）

ことわざだけでなく、格言、俚言など広く日本の庶民生活に関わりの深い言葉について書かれた書物を復刻し、収録しています。「日本の諺」「農業に関する金言俚諺」「外国人の集めた日本のことわざ」「コトワザ（尋常小学読本）」「各地俚諺集」「朝鮮俚諺」などがあります。

『絵で楽しむ江戸のことわざ』（時田昌瑞著 東京書籍 2005）

江戸時代、ことわざを絵などで視覚的に表現することが流行し、有名な絵師もことわざを題材として描いています。この本では、そういった浮世絵や風刺画、画本の挿絵などを、ことわざとともに紹介しています。

『絵解き江戸庶民のことわざ』

（F. ステナケル、上田得之助著 東京堂出版 1991）

1885年にパリで出版されたものを翻訳・注釈したもので、挿絵は河鍋暁斎とされています。ことわざを調べるというよりは日本文化を紹介するという側面が大きい資料ですが、1つのことわざについて詳細な解説や、背景となる文化事情の説明があります。



世界のことわざを調べる

外国のことわざが日本語に取り入れられたり、日本語のことわざと同じ意味を持つ外国語のことわざがあることもあります。

『世界ことわざ大事典』(大修館書店 1995)

日本を含む99の国や地域と、聖書などの古典から集めた9,000以上のことわざについて、簡潔に解説しています。各国・地域ごとに100例を上限とし、最初の10例については原文とともに記載されています。沖縄とアイヌのことわざには、ヨミも記載。日本のことわざから、対応する世界のことわざを探す「日本のことわざ索引」と、ことわざの中に含まれる言葉から探す「キーワード」索引があります。

『五カ国語共通のことわざ辞典』(張福武著 慧文社 2007)

日本語・台湾語・英語・中国語・韓国語に共通する(同じ意味を持つ)ことわざを200以上紹介しています。5カ国語共通のもの以外は、「補足の部」として掲載。巻末に日本語・台湾語・英語によるキーワードインデックスが付いています。

『韓国の故事ことわざ辞典』(孔泰瑢編 角川書店 1987)

韓国のことわざ・故事約3,000について、日本語訳の五十音順に配列して解説しています。意味の説明の他、日本や欧米の類句を掲載し、各音の最後には「吉兆・忌避句」も紹介。巻末には出典の解説とハングル索引があります。

● ● ● こんな外国語のことわざ資料もあります ● ● ●

『日韓類似ことわざ辞典』(賈恵京著 白帝社 2007)

『対訳詳解韓国ことわざ選』(高麗書林 1975)

『中国語ことわざ用法辞典』(金丸邦三, 孫玄齡共著 大学書林 2006)

『インドネシア語ことわざ用法辞典』

(左藤正範, エディ・プリヨノ共著 大学書林 2001)

『モンゴル語ことわざ用法辞典』

(塩谷茂樹, E・プレジャブ著 大学書林 2006)

『台湾のことわざ』(陳宗顯著 東方書店 1994)

『ペルシア語ことわざ用法辞典』

(勝藤猛, ハーシェム・ラジャブザーデ共著 大学書林 1993)

『ドイツ語ことわざ辞典』(山川丈平編 白水社 1975)

『フランス故事ことわざ辞典』(田辺貞之助編 白水社 1976)

『フランス語ことわざ辞典』(渡辺高明, 田中貞夫共編 白水社 1977)

『ポルトガル語ことわざ辞典』（渡部宏昭編著 たまいらぼ 1988）
『スラヴのことわざ』（栗原成郎著 ナウカ 1989）
『英語名句名言早わかり』（大塚英太郎著 南雲堂 1987）
『英語常用ことわざ辞典』（北村孝一，武田勝昭編 東京堂出版 1997）
『現代英語ことわざ辞典』（戸田豊編著 リーベル出版 2003）
『フランスことわざ名言辞典』（渡辺高明，田中貞夫共編 白水社 1995）
『スペイン語ことわざ用法辞典』
（山崎信三，フェリペ・カルバホ共著 大学書林 1990）
『ロマンス語ことわざ辞典』（伊藤太吾著 大学書林 2004）
『チェコ語諺・成句辞典』（菊池正雄編集 武田書店 2002）

インターネット情報源

『Words of Wisdom OK312』（Take Moon OK） <http://www.ok312.com/>
英語、日本語相互参照形式の名言辞典です。



ことわざで遊ぶ<その2>—ことわざのパロディ

五七五などリズムを持つものも多いことわざは、川柳やドラマ・本の題名など、などさまざまなパロディの材料として使われる事も多いようです。

『にせにせことわざずかん』（荒井良二著 のら書店 2004）

ことわざと、そのパロディを載せた子ども向けの本です。本を開くと、右側はことわざの本来の意味、左側にはそのパロディがイラスト付きで描かれています。「一寸先は闇」はどう変えられてしまうのか？ パロディになっても含蓄のある本です。